

鳴海の全国ぶらり旅

何気なく目を通していた北海道新聞で、気になる見出しを発見。それは「はちみつでトマト栽培」というものでした。仕事柄、「はち」に関する情報には興味津々ですので、目にとまったこの新聞記事を読み終えた後、ぜひお話を伺いたいと思い、今回の旅は知内町に決定しました。

道南にある知内町は、私が暮らす乙部町と同様に海や山などの自然に恵まれた町です。はちみつを用いたトマト栽培を手掛けている手塚さんは、知内町元町の山懐の緑に囲まれる環境で農業を営んでいきます。津軽海峡を望む海沿いを走り、北電知内火力発電所前の道を町内涌元方面へ向かい山あいへ1.5kmほど行きます。緑に映える赤い屋根の家、ここが手塚さんの自宅です。早速お話を聞きしました。



トマト栽培は、今年から始めたところです。本州の稲作農家が葉にはちみつを散布し「ハニーライス」として出荷しているのを知り、トマトにも応用できるのではと取り組んだのがきっかけですね。」

水で1000倍に薄めて、月に2回は根元にまき、1回は葉の両面に霧状に散布しているのだと話してくれました。中玉のレッドオーレという品種は手塚さんの手にかかると、甘みが出てまるで果物のような味になるのです。「はちみつ育ちのフルーツトマト」と名付け、函館市内の市場や生協などに出荷しているとのこと。「現在5棟のビニールハウスは、来年には13棟に増やす予定です。要望があれば、将来的には札幌圏まで販路を広げたいとも思っています。」と笑顔で力強く語る手塚さん。



▲ お忙しいなか数々のお話をしてくださった手塚さん(写真左)

◆取材協力◆

知内町元町81
01392-5-6332

手塚 統さん